

筑後川水系寒水川 河川整備交付金事業 (広域河川改修事業)

みやき町

(再評価実施後5年が経過)

位置図



事業目的

➤ 流下能力不足による浸水被害が発生

○平成2年7月洪水の被害

- ・浸水戸数 454 戸
- ・浸水面積 720 ha



➤ 浸水被害の軽減を図る

○流路是正、狭窄部解消、放水路を実施

○治水安全度の向上を図る

- ・計画流量 160 m³/s
- ・計画治水安全度 1/50

浸水被害 (H13.7)

寒水川『平成13年7月11日～12日』
『梅雨前線豪雨』

連続雨量247mm
最大日雨量211mm
時間最大雨量50mm
(山田雨量観測所)



浸水家屋 6戸
農地浸水面積 59ha



近年の浸水被害(H30.7豪雨)寒水川



連続雨量:319mm
最大日雨量:314mm
時間最大雨量:45mm
(山田雨量観測所)

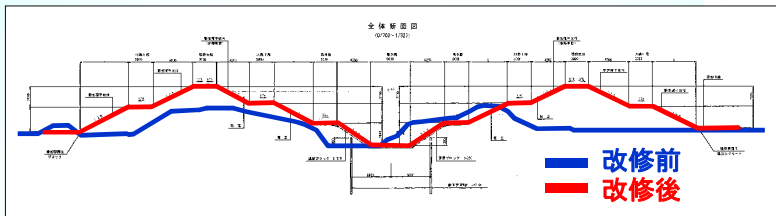
近年の浸水被害(H30.7豪雨)通瀬川



連続雨量:319mm
最大日雨量:314mm
時間最大雨量:45mm
(山田雨量観測所)

事業概要

- 全体事業費: 16, 100百万円
- 事業期間: S54~H45
- 改修延長: 7, 575km
- 計画流量: 160 m³/s
- 計画治水安全度: 1/50
- 掘削・築堤・護岸、橋梁 15基
堰 13基
排水機場 1箇所
- 費用対効果: 3. 1



事業の進捗状況

< 寒水川 >

- ・H10…排水機場完成
- ・H22…放水路通水開始
- ・現在…西尾橋の改築工事を進めている

< 通瀬川 >

- ・現在…河床掘削を残し改修が概成
下流より河床掘削工事を進めている

H29年度末 進捗率76%(事業費ベース)
年平均 進捗率2.0%



整備完了	■
整備中	■
未整備	■

完成区間の状況

< 寒水川 >



西尾橋から下流を望む

完成区間の状況

< 通瀬川 >



町道橋から下流を望む

未着手区間の状況

< 寒水川 >



西尾橋(仮橋)から上流を望む

未着手区間の状況

< 通瀬川 >



町道橋から上流を望む
(河床掘削が残っている)

多自然川づくりの状況(西尾橋下流区間)

- ・護岸の覆土や、樹木の保全等を行い、植生の拡幅を図っている。



<1号橋下流区間>
護岸に覆土し、植生の
拡大を図った。



<土井手堰上流区間>
左岸側の木を残す
計画とした。

事業を巡る社会情勢の変化

<地域の状況>

- ・河川周辺の町道について、道路拡幅事業が進められている。

費用対効果の要因の変化

工期延長及び全体事業費の増によりCが増大しB/Cの減

総費用額C

・治水施設の整備及び維持管理に要する費用
(建設費・維持管理費(事業完了後50年間))

総便益額B

治水施設整備によってもたらされる総便益額(被害軽減額)

・一般資産被害(家屋、事業所等)	36,773百万円
・農作物被害(水稻、畑作物等)	902百万円
・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁等)	62,266百万円
・間接被害(事業所の営業停止被害、清掃費用等)	2,707百万円
・残存価値	53百万円

総費用C: 33,171(百万円)

総便益B: 102,701(百万円)

$$\text{費用対効果} = \frac{B}{C} = \frac{102,701}{33,171} = 3.1$$

コスト縮減や代替案等の可能性

- コスト縮減: 再生材の積極的利用
建設副産物の有効利用
- 代替案: なし

対応方針(事業課案)

➤ 河川改修の効果

①治水安全度の向上

②平成2年7月洪水による

・浸水戸数 454 戸

・浸水面積 720 ha の軽減

③地域住民の安全・安心な暮らしに寄与

➤ 今後の事業展開

⇒事業を継続し、早期完成を図りたい